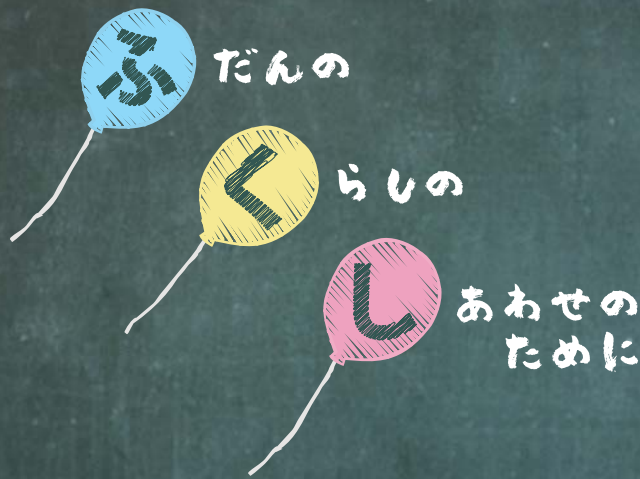


「福祉の学習」
推進パンフレット
(小学校高学年～
高校生対象)



みんなが
しあわせに
くらししていく
ための教育

くらしの中のつながり



教職員の皆様へ

2020年、新型コロナウイルス感染症が世界中で大流行しました。

感染予防のため、日常生活や地域の様々な活動が制限されたり休止となり、また、目に見えないウイルスへの不安から、感染者や医療従事者への差別が生まれるなど、物理的にも心理的にも人と人の距離が離れる状況が起きました。

一方こうした状況は、人と人、人と社会との「つながり」の大切さが見直される機会にもなりました。

今、私達の国が実現を目指している「地域共生社会」においても、「つながり」がキーワードとなっています。

誰もが地域の中で安心感と生きがいを持って暮らせる社会を創り出すため、地域住民や地域の多様な主体が、「支えて」「受け手」という関係を越えて「つながり」、当事者意識を持って地域課題に取り組んでいく姿勢が求められているのです。

このパンフレットでは、私達の身の回りにある「つながり」について考えていきます。福祉の学習の中で、「社会的つながり」を学ぶ際の参考資料としてご活用頂ければ幸いです。

コロナ禍で「つながり」の大切さが見直されている今、子供たちと一緒に「つながり」について考えてみませんか？皆さんの福祉の学びを社会福祉協議会がお手伝いします。

「つながり」って何だろう？

私たちの生活は、様々な人との関わりのもとで成り立っています。私達が着ているものや食べているもの、住んでいるところ、使っている道具一つ取っても、「つくる人」「届ける人」「売る人」との関わりがあって私達のもとへ届けられています。

ミニワーク1

あなたの身の回りにある「人との関わり」を挙げてみましょう。

家庭や学校、
地域の中でどんな人との
関わりがあるのかな？



このような、人との結びつき・関わり＝「**つながり**」は、私達の身の回りにたくさん存在します。

はじめにお話した「もの・サービス」を通じて生まれる「**つながり**」もあれば、親きょうだいや親戚など血縁による「**つながり**」、町内会や自治会・学校区など地縁による「**つながり**」もあります。

昨今の研究では、こうした社会との「**つながり**」が強ければ強いほど、認知症などの病気の発症リスクを軽減したり、身体面の健康を増進したりする効果があることがわかってきています。

●オンラインでつながる

2020年に発生した新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、様々な対面による活動が制限されたことに伴い、インターネットを活用した「**つながり**」の活動が盛んになりました。

オンライン会議ツールやSNSを使って、サロン活動や地域食堂、住民向け講座、地域のお祭りなどの地域活動が行われたり、学校交流や社会見学などが行われたりと、その活動の幅はどんどん広がっています。

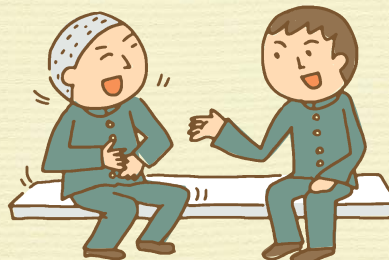
ミニワーク2

「**つながり**」には、直接的な対面、電話や手紙・もののやり取り、オンラインなど、様々な形がありますが、あなたは次の2つのうち、どちらの方により強い「**つながり**」があると思いますか？

A：月に一度直接会って、30分お話しする人

B：毎日インターネット上で10分お話しする人

あなたの考えを
聞かせてね



「つながり」と地域活動

●まちづくりと「つながり」

誰もが地域の中に居場所や生きがいを持って安心して暮らせるようになるため、地域の中では様々な「つながり」の活動が行われています。

【小地域福祉活動】

見守りボランティア／生活支援ボランティア

主に高齢の方を対象とした活動です。自宅を訪問して話し相手になったり、困りごとが無いかが聞き取りをしたり、ゴミ出しなどの家事のお手伝いや外出時の付き添いなどを行います。

【地域サロン】

地域の気軽な集いの場で、地域住民の居場所・交流づくりの拠点として機能しています。高齢の方や子育て世代、障がいを持つ方を対象としたものや、どんな方でも参加できるものもあります。

【こども食堂／地域食堂】

主に地域住民が中心となって運営する食堂で、無料・低額で食事を提供します。地域の交流の場にもなっており、孤食が問題となっている現代に重要な役割を果たしています。



ミニワーク3

あなたの暮らす地域で行われている「つながり」の活動を調べてみましょう。

●自然災害と「つながり」

日本では毎年のように自然災害が発生しています。災害を止めることはできませんが、防災の取り組みや災害ボランティアなどを通じて、災害を乗り越えることができます。そして、これらの取り組みは「支え合い・助け合い」の関係のもとに行うことがとても重要です。



【防災の取り組み】

防災マップ作り、防災訓練、発災時の救護支援や避難支援

【災害ボランティア】

避難所支援、炊き出し、家の片づけ、泥出し、物資の配布

ミニワーク4

災害ボランティアの一つに、「被災した方の話し相手になる」という活動があります。

この活動にはどんな意味や効果があるのでしょうか？

ミニワーク5

あなたの町の防災マップを作ります。そのために、地域のどのような人々に協力してもらおうと良いのでしょうか？ また、それは何故ですか？

私達にできる「つながり」活動

●地域の人と交流する

地域行事は、地域における「つながり」づくりのきっかけの場になります。例えば、地域のお祭りやスポーツ大会、清掃活動やボランティア活動に参加することで、普段は関わることの少ない地域の方々とも知り合うことができます。

また、学芸会や学校祭などの学校行事に地域の方々を招待し、学校を「つながり」づくりの場にすることもできますね。

●ものやお金を届ける【募金・収集活動】

直接対面しなくてもできる「つながり」の形があります。例えば、募金を通じて被災者支援や地域の福祉活動、ボランティア活動などを応援することができます。

また、ベルマークやリングプル・テレホンカード・書き損じはがきなどを集めてお金や福祉用具（車いすなど）に代え、福祉団体の活動を支えることができます。



●メッセージや情報を届ける

【手紙・ミニコミ紙】

対面での活動が難しい時、手紙やミニコミ紙は「つながり」を作る重要なツールとなります。直接会うことができなくても、励まし・感謝のメッセージや自宅でできる健康づくりの情報を届けるなど、コロナ禍では大きな役割を果たしています。



【音訳・朗読ボランティア、点訳ボランティア】

障がいのある方への支援の一つで、視覚障がいを持つ方を対象とした活動です。活字を点字に翻訳したり、音声にして伝えたりします。障がいの有無によらず、誰もが暮らしやすい社会を作るための大切な活動です。



ミニワーク6

これまで、暮らしの中にある様々な「つながり」について見てきました。今までを振り返って、「つながり」は私達の暮らしの中でどんな役割を担っているのか考えてみましょう。

令和3年3月発行

社会福祉法人北海道社会福祉協議会地域福祉部地域福祉課

北海道ボランティア・市民活動センター

TEL : 011-271-0683 FAX : 011-271-3956

本パンフレットは以下の URL から PDF でダウンロードすることができます。

(http://www.dosyakyo.or.jp/v_center/)

